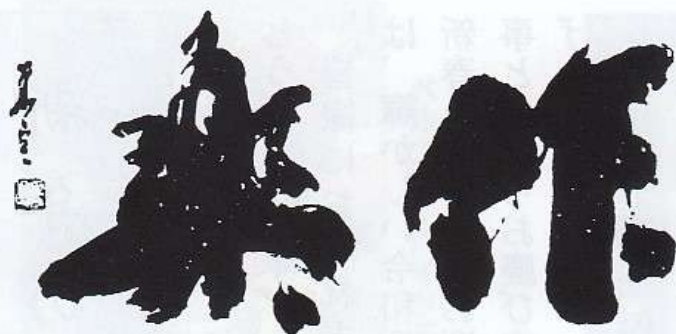




第262号

令和8年1月20日号

社会福祉法人 一誠福祉会

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5115 ・ FAX (0532) 48-7811



手作りの門松を囲んで 午年元旦 於 特別養護老人ホーム麗楽荘玄関

目 次

2026年賀春

新年のご挨拶……………

社会福祉法人一誠福祉会理事長 滝川 一 亮……………2

年頭所感……………3

社会福祉法人一誠福祉会理事 岩崎 章……………3

初春のお慶びを申し上げます……………4

社会福祉法人一誠福祉会評議員 波田野きくよ……………5

一誠福祉会と共に……………5

(福)一誠福祉会後援会豊橋会長 井上 賢照……………5

2026年職員午年の抱負……………6

笑顔をやさ……………6

特別養護老人ホーム作業室介護士 加藤 祐季……………6

より良いケアを目指し……………6

特別養護老人ホーム倶楽部介護士 鈴木 泰考……………6

挑 戦……………6

特別養護老人ホーム新築介護士 岩崎由美子……………6

自分らしい支援を大切に……………6

老人保健施設ルビウハイム相談員 村田 京子……………6

日進月歩……………6

特別養護老人ホーム麗楽荘介護士 竹本 愛綾……………6

心と体のリセット……………6

特別養護老人ホーム奇楽荘介護士 横井 佑二……………6

節目に思う……………6

ケアハウス和光ハイム相談員 川上 裕之……………6

メッセージ……………8

2026年新春シルバームッセージ……………8

2026 新春作品展……………10

施設日誌／編集後記……………11



2026 年賀春

新年のご挨拶



社会福祉法人一誠福祉会 理事長 滝川 一 亮

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい令和 8 年の新春を健やかにお迎えの事と心からお慶び申し上げます。

本年の干支は「丙午（ひのえ・うま）」です。60 年に一度巡ってくる縁起の良い年で、火の要素を持つ「丙（ひのえ）」と、力強さや前進を象徴する「午（うま）」が合わさり、生命力があふれ、新しい挑戦や物事の発展に最適な、エネルギーで活気のある年とされています。奇しくも昨年は自民

党総裁が代わり、高市政権が誕生した事で、政策も「緊縮財政」から一転、「戦略的な財政出動」へと大きく舵を切りました。医療介護の分野に対しても補正予算による物価高対策や介護従事者への処遇改善、介護保険制度の抜本的な見直しが行われる公算が高くなり、良い意味で活気のある年になってくれる事を期待しています。

昨年は「2025 年問題」の年で、約 800 万人の団塊の世代（1947 年～1949 年生）が後期高齢者（75 歳以上）にな

る事によって、医療・介護を必要とする人が一気に増え、人手不足からサービス提供に影響が生じておられます。当法人でも年々深刻化する慢性的な人手不足の中、多面的に雇用を行うとともに、職員の負担を軽減するためのインフラ整備を行うべく奮闘しております。2025 年は「AI エージェント元年」とも呼ばれ、生成 AI が次々と登場しました。ChatGPT をはじめ、Gemini、Claude、DeepSeek などの名前をニュースで耳にされたかと思えます。最初は懐疑的に見られていた AI も徐々にその有用性が評価される様になり、身近なものでは動画サイトの挿絵やアニメ、

はては現実の出来事かと見紛うばかりのフェイク映像まで AI で作成され、ごく当たり前に目にする様になりました。この爆発的な普及の中、介護業界に於いても AI を駆使した介護サービスが提供される日も近いのではないかと考えており、利用者様により満足して頂けるサービスを順次導入していきたいと考えております。

本年も、当法人の理念である「ノーマライゼーション」の実現を目指し、また、接遇の面に於いては、Smile、Speed、Smart の 3S の実践を引き続き心掛けてまいります。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

年頭所感

社会福祉法人一誠福祉会 理事 岩 崎 章



新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの影響も少しずつ減ってきましたが、未だ国内では数多く報道されています。

特別なことはありませんが、私も大病を体験した後、日常生活の過ごし方で少し気をつけるようになります。例えば三度の食事は普通にしていますが、魚介類が70%、肉は30%くらいにしています。その量は、朝食50%、昼食25%、夕食25%にしてお

り、特に朝食は野菜サラダを沢山食べております。

運動は、毎日庭仕事や運動を4時間以上は続けており、血液の循環にはいろいろと気をつけた動きもしています。

ところで、地球全体の環境は温暖化現象を中心に激しく変化しています。この数年間広島県のカキの産地では、養殖のカキが70%以上も死んでいるという問題が続ぎ、東北地方の漁港の組合でもその対策テストを重ねているようです。

また、最近話題になる

のが公共事業物の耐久性についてであります。全国各地の下水道管などの破壊による道路の陥没や、新城市内でも報道された「橋」が耐久性がなくなり通行禁止となっているなどです。

国・県・市町村の債務は引き続き増加している中で、国は防衛力の維持、増強を積極的に進めていますが、それよりも身近な問題、つまり公共事業物（建築物・橋・道路・上下水道など）の耐久性に対する問題を積極的に取り組む対策が求められていると思います。

一誠福祉会も最近大きな修繕工事（作楽荘・ベルビューハイツ・麗楽荘

など）が行われましたが、各施設の現状点検と問題点の対策を進め、組織の理念「ノーマライゼーション」に基づいた事業運営を推進し、地域社会に一步ずつ貢献できるように頑張りましょう。



初春のお慶びを

申し上げます



社会福祉法人一誠福祉会 評議員 波田野 きくよ

明けましておめでとう
ございます。

皆様は、近頃「ときめき」「キュン」「推し」「エモい」「沼」といった気持ち、実際に経験したり、楽しんでいらつしやいますでしょうか？日々の忙しさに追われ、そんな時間がないと感じておられる方も多いかもしれせん。私自身も、気づけば一年があつという間に過ぎてしまい、驚くばかりです。

昨年、カフェギャラリーにて偶然、山本実穂様の個展『わたしのクレー』が開催されているのを拝

見いたしました。絵画に特別詳しいわけではありませんが、今回、初めてその作品に触れ、その絵からは、これまでに味わったことのない深い感動と衝撃を受けました。一瞬、絵の前から動けなくなったのです。さらに、その場に山本実穂様ご本人がいらして、作品への思いや制作の背景など、さまざまなお話を伺うことができました。お別れの際には「お葉書を送りますから、楽しみに待っていてくださいね」と温かい言葉をかけていただき、その心遣いに胸が熱

くなりました。改めて、さまざまな意味で出会いとご縁をたいせつにしていきたいと感じた瞬間でした。こちらが頂いた葉書です。丁寧な手描きの絵に、深い感動を覚えしました。



たいせつな宝物

作品との出会いを通じて、日常の中にある小さな感動や、自分の心が動く瞬間をもっとたいせつにしたいと強く思うようになりました。忙しさの中でも、ふと立ち止まり、自分の感性に耳を澄ませる時間を持つことのたい

せつさを教えていただいた気がいたします。

飛躍しますが、もし、これまでやってみたいと思っていたことや、これから始めてみたいことがあるありましたら、ぜひ、今年は一歩を踏み出してみたいかがでしょうか？その一歩が、新たな世界や思いがけない出会いにつながるかもしれません。最後になりましたが、評議員としての重任と責務を胸に、今年も誠心誠意努めてまいる所存です。何卒、昨年同様のご厚情を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



一誠福社会と共に

(福)一誠福社会後援会豊橋会長 井上賢 照



新年明けましておめでとうございます。

私の誕生日は昭和十年十二月三十一日、九十歳になりました。一日ズレていれば、全国民からおめでと言ってもらえた。毎年、落語の枕ではありませんがこの話からいつも始めています。

本業は豊橋市の浄土宗西禅院で住職をしております。健康には気を使っているつもりでしたが、今から三年程前に突然脳梗塞を発症し、療養生活を送っていましたが、後援会の活動は行っていました。

さて、私と法人とのかかわりですが、昭和六十二年、法人が認可された際、理事として法人経営にもたずさわらせていただき、その後評議員を務めさせていただきました。

一誠福社会後援会は平成五年に発足、初代会長はユタカ自動車総業(現ユタカコーポレーション)の故磯村直英氏、私は副会長になり、そして、平成二十九年に後援会豊橋の会長になりました。

なお、後援会活動としては、各種イベントの開催や地域への貢献、また、法人施設等への物品の寄

付など、アイディアを持って活動しています。その他、施設行事へも参加しており、花祭りとか盆供養で各施設を回っています。その中で参加しているお年寄りや職員に話をしています。

私は広島大学教育学部を卒業し、地元のマツダ自動車でセールススクールの講師をしておりまして、この経験を活かすことができました。

私が各施設を回りますと、職員から「人手不足」とくるのは「人手不足」という言葉です。

企業での経営資源は「ヒト・モノ・カネ・情報」の四要素といわれますが、やはりその中では「ヒト」は最も大きな要

素だと思っています。

天台宗の開祖、伝教大師(最澄)の有名な言葉に「一隅を照らす、これ則ち国宝なり」という教えがあります。一人一人の職員が、自分の職場で、日夜、人知れず汗水流して努力している姿は、まさしく国宝の名に値するものです。職員の皆様の頑張りに敬意を表します。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



2026 年

職員千年の抱負



笑顔を決やさず

特別養護老人ホーム作楽荘

介護士 加藤 祐季

昨年は十月から十一月にかけて認知症介護実践者研修を受講しました。講義・実習を通し利用者様の視点から普段の生活、ニーズについて考えること、利用者様個人に焦点を当てたケアを日常的に行うことの重要性や難しさを改めて感じる機会となりました。

また、実習過程を経て最初の情報収集がその後支援決定に及ぼす影響の大きさについても自ら体験しながら学習することができました。そのた

め今年は、昨年以上に利用者様一人ひとりに寄り添ったケアを行うことを目標とし、まずは日常のかかわりからお好きなものや、活動を知っていくところからしっかりと意識していきたいと思います。

そして、得た情報をもとに個人の QOL の向上を見据え、必要なケアや取組みを考え実施していくよう努めたいです。



より良いケアを目指し

特別養護老人ホーム倶楽荘

介護士 鈴木 泰考

昨年、ユニットリーダー研修を受講させていただき研修を修了することができました。研修は意欲向上に繋がり刺激を受けることもできました。

また研修では排泄支援について運営計画を立案しました。課題としたのは今まで利用者様への排泄についての羞恥心や自尊心に配慮した支援や声掛けができていないと感じていました。排泄用品は見えないような工夫をし、排泄意思の声掛けも他の方に聞こえないよう少し移動してから声掛けする等配慮を行っていきたいと思います。計画した運営計画書に基づいて二〇二六年で目標を実践していきたいです。

また研修で学んだことを活かし今まで以上にユニットケアの質の向上とスキルアップを目指していきたいです。

利用者様にはより良い

ケアを提供し、職員にはコミュニケーションを円滑にして、働きやすい職場環境作りに努めていきたいと思います。



挑戦

特別養護老人ホームス楽荘

介護士 岩崎 由美子

昨年の四月に人事異動でス楽荘に配属になりました。ス楽荘に配属前の施設は麗楽荘でしたが、同じ特養でもユニットケアは初めてでしたので戸惑いました。

ケア方法はなんとなく分かってはいても、実際に業務に入ってみると、これからやっていけるのか、利用者様の情報、業務内容等を覚えられるのかと不安でいっぱいでした。それでも、やるしかな

いと気持ち切り替え業務にあたりました。

失敗する事も多々ありましたが、職員の皆さんが親切に教えて下さり、とても助けられました。

そんな日々が続き、気づけばもう八ヶ月が経ちました。少しずつですが今の職場にも慣れて、何とか仕事をこなせているのではないかと思います。

令和八年の抱負は、分からない事は、小さな事でもなんでも訊くようにし、出来なかった事は何回でも挑戦したいと思っています。

これから、どんな仕事に対して、一つひとつ真摯に向き合っていくたいです。



自分らしい支援を大切に
老人保健施設ベルヴューハイッ
相談員 村田 京子

一誠福祉会に入職して一年半が経とうとしています。

これまで介護認定調査員として長く勤めてきた経験は、今の私を支える大きな力となっています。

一方で、施設で働くことや相談員としての業務は初めての経験であり、戸惑うことや悩むことも少なくありません。

利用者様やご家族様のお話を丁寧に聞く姿勢はこれまでと変わりませんが、施設では多職種との連携や外部機関との調整、制度への理解など、相談員に求められる役割の広さに難しさを感じる場面

もあります。それでも、日々の業務の中で多くのことを学び、周囲の支援に助けられながら少しずつ前に進んでいます。

これからも一つひとつの経験を大切に、利用者様やご家族様に寄り添う支援を続けていきたいと思っています。



日進月歩

特別養護老人ホーム麗楽荘
介護士 竹本 愛綾

昨年入職したばかり、年齢も二十代であるため、皆様には何かとご指導いただき、誠にありがとうございました。

貴重な助言のひとつひとつが私の大きな支えとなり、日々の業務に向き合う力となりました。まだまだ頼ってしまう場面



心と体のリセット

特別養護老人ホーム奇楽荘
介護士 横井 佑二

この原稿を書いている段階では年明け前で、二〇二五年も終わるという感覚があまり感じられないほど、去年はこれまで勤めてきた中で一番せわしない一年だったように感じました。それは、実務者研修受講のために学校へ通っていたことやユニットリーダー研修を受講したためでした。

昨年三十一歳になり、

法人に勤めて十二年経っていましたが資格を取ろうと思ったことはあまりありませんでしたので、自分で決断して、実行した一年になったと思います。その決断により、休日を勉強に充てなくてはならない日が多く、仕事以外でも頭をフル回転して励んでおりました。

故に、今年の抱負は心も体もあり休めなかったもので、「休日にはしっかりと休むこと」にしました。心身ともに万全に、今年も仕事に励みたい所存でございます。

節目に思う

ケアハウス和光ハイム

相談員 川上 裕之

川上裕之、ついに還暦を迎える。還暦は、干支

が一周して生まれた干支に戻ることを意味して人生の新たなスタートを祝う特別な節目とされています。健康管理、老後の経済設計見直し、新しい生きがいの発見、家族との絆を深める、心の健康を保つなど、自分自身に目を向ける重要な節目です。

この機会を活かして新しい趣味や学びに挑戦出来れば良いかと思っています。また、友人や家族とコミュニケーションを取り、社交的な活動も増えることでしよう。自分らしい生き方を追求して毎日大切に過ごして行ければと思います。



メッセージ

2026年新春

シルバー
メッセージ

特養作楽荘

小石 とくよさん



現在百三歳、施設で最高齢となりました。歌が大好きなので、今年も元気にたくさん歌って穏やかに暮らしたいです。

市川 いとさん



車いすでの生活ですが、

自分で出来るところは頑張って行なっています。家族が面会に来た時には元気な姿を見せたいです。

古川 嘉子さん



ご飯をたくさん食べて、健康に気を付けたいです。そして、皆さんと笑顔で暮らしていきたいです。

ケアハウス美光ハイム

鈴木 俊夫さん

縁あって昨年十月より美光ハイムに入居させていただいて、早いもので三カ月が経過しました。私は過去共同生活の経験がなく、また普段全く運動をしてこなかったため、

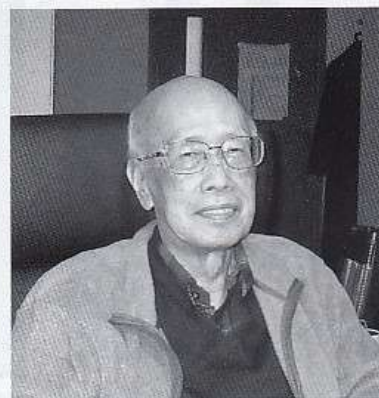


老健ベルヴューハイツ

金山 千代子さん

私は昭和六年七月十四

毎朝のラジオ体操でも筋肉痛になる有様で、当初が皆さんが親切に指導して下さり、現在はずっかり慣れ親しんでいます。今年以降は、残された時間を有意義に目標を立て、日々過ごしていきたいと思っています。今年も皆さんにとってより良き年でありますよう祈念いたします。



日生まれで、今年は九十歳になります。豊橋の札木で生まれ二歳の時に



田原に引っ越し、中学二年生までを過ごしました。

十八歳の時、のど自慢に応募し合格することができましたが、父親に反対され出場できなかったことは、今でも残念に思います。その一年後、私は結婚し子供三人と孫六人曾孫六人でにぎやかに過ごしました。

今は、ベルヴューハイツで職員さんに不自由なく過ごさせてもらって

ます。毎日エプロンなど洗濯物を畳んだり、時々編み物を編んだりすることが最近の楽しみです。

これからもここで、元気に楽しく毎日を過ごしていきたいと思っています。ですので、皆さんよろしくお願いします。二〇二六年が皆さんにとって良い一年になることを願っています。



ケアハウス和光ハイム

石原 サチ子さん

和光ハイムの創設時（平成十一年）に入居して二十六年になりました。共同生活は初めてであったため当初は不安でしたが、同居人、職員に恵まれ、楽しく月日を重ねてこれたかと思っています。今の日課は、まずは駐

車場や歩道の清掃作業、その後、花壇の土や花を入れ替えたり、雑草取りをしています。そして、館内にめだかがいますので、その水槽の清掃や水を換えています。少しでも皆様のお手伝いができればと思います。

楽しみとして裏庭でお芋を育てていましたが、昨年はあまり良いお芋が出来ませんでしたので、今年こそは良いお芋ができるように頑張ります。



刺 繍



和光ハイム 宮澤 早苗さん



美光ハイム 木村 勝美さん

きめこみパッチワーク



BVHデイクア 山内 達朗さん

貼 り 絵

新春作品展

2026

書 初 め

作楽荘シヨート 石原 愷代さん

富士山
初日出

DSC吉かわ 大谷 知義さん

初夢

DSC吉かわ 筒井さわゑさん

平和

筒井

DSC吉かわ 原田 武司さん

初春

原田武司

絵 手 紙



DS作楽荘 山田 久子さん



DS作楽荘 芳賀 朝子さん



DS作楽荘 中島 郁代さん



デイサービスセンター 作楽荘



共同作品

特別養護老人ホーム 作楽荘



ベルビューハイッテイケア



作楽荘ショートステイ



特別養護老人ホーム 麗楽荘



DSC 吉かわ

本部 日誌

令和7年12月

10日 本部会議(於 斯楽荘)

10日 キャリアパス新人接遇研修(手嶋史枝講師 於 作楽荘)

12日 第二回評議員会(於 麗楽荘)

17日 木の花会忘年会(於 アークリッシュ豊橋)

12日 庄内茶々研修(於 作楽荘)

19日 庄内茶々研修(於 麗楽荘)

24日 庄内茶々研修(於 BVH)

作楽荘 日誌

令和7年12月

2日 豊橋豊学校中 学部職場体験学習(デイサービス)

4日 忘年会

4日 一体化事業 有楽円心会(包括 於 有楽町公民館)

6日 愛知大学吹奏楽部演奏慰問

8日 給食会議

6日 健康講座相談受付(包括 於 高師老人福祉センター)

9日 難病講演会(包括 於 栄ガスビル)

10日 中野校区民生委員定例会(包括 於 中野校区市民館)

12日 福岡校区民生委員定例会(包括 於 福岡校区市民館)

15日 寿司祭り

16日 包括業務打合せ(オンライン)

16日 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊副主任 於 大清水センター)

22日 茶話会(居宅 於 大清水センター)

23日 クリスマス会

25日 職種別会議(社会福祉士)(有馬主任・大塚 於 豊橋市役所)

26日 連絡会議

29日 餅つき会

29日 生け花慰問(佐藤征子講師・大谷恭子講師)

美光ハイム 日誌

令和7年12月

4日 忘年会

7日 カラオケクラブ(9・21・23日)

12日 園芸クラブ

14日 みんなで歌う会(28日)

18日 健康体操クラブ

22日 定例会

24日 健康チェック

26日 パステル画

27日 クリスマス会

27日 餅つき会

大掃除

倶楽荘 日誌

令和7年12月

3日 移動スーパー買物(毎週水曜日)

11日 Aユニット会議

12日 Bユニット会議

17日 誕生日会

18日 Cユニット会議

24日 イベントランチ

25日 クリスマス会

26日 訪問理美容(きれいや)

31日 倶楽荘連絡会議

31日 リーダー会議

GHくらし 日誌

令和7年12月

3日 移動スーパー買物(毎週水曜日)

10日 お菓子作り

17日 誕生日会

24日 クリスマス会

25日 訪問理美容(きれいや)

26日 倶楽荘連絡会議

斯楽荘 日誌

令和7年12月

8日 斯楽荘連絡会議

15日 リーダーミーティング

- 16日 イベントランチ
18日 餅つき会
21日 Cユニットミーティング
22日 移動スーパードット
24日 クリスマス会
25日 作業連絡会議
Bユニット誕生会

ベルビューハイッツ日誌

令和7年12月

- 9日 職種別会議(主任ケアマネ(堀内主任・数井 オンライン))
11日 茶話会(堀内 於 ライフポートとよはし)
15日 職種別会議(看護師)(山崎 於 あいトピア)
17日 忘年会・もちつき
18日 地域ケア会議基礎研修(菅沼副主任・山崎・数井 オンライン)
22日 クリスマス会(2階)
23日 クリスマス会(3階)
職種別会議(社会福祉士)(菅沼副主任 於 豊橋市役所)
25日 連絡会議

DSC吉かわ日誌

令和7年12月

- 1日 サービス事業者研修交流会(滝川主任)
9日 芸能慰問(金田ひよこ様)
11日 天ぶらの日(イモ天提供)
15日 季節の花週間(柚子湯 22日)
17日 虐待防止委員会
20日 てづくりおやつ(坂管理栄養士)
23日 感染対策委員会
25日 BCP委員会
防災委員会
26日 習字教室(佐藤征子講師)
27日 紅白歌合戦
ミーティング
社内研修(介護予防及び要介護度進行 予防)(滝川主任)

麗楽荘日誌

令和7年12月

- 2日 移動販売(シャローム)
9日 給食会議
16日 移動販売(もつくる新城)(23日)
ボランテア(はぐるまの会)
誕生会
餅つき大会
連絡会議
入所判定会議
クリスマス会
生け花クラブ(加藤温瞳講師)

和光ハイム日誌

令和7年12月

- 1日 和の会
2日 移動販売(シャローム)
4日 体操教室(今泉勝代講師)
8日 茶臼山厚生病院定期受診
9日 移動販売(もつくる)(23日)
12日 茶臼山厚生病院定期受診
17日 餅つき大会
18日 体操教室(今泉勝代講師)
21日 訪問リハビリ
22日 クリスマス会
24日 訪問リハビリ
25日 生花教室(加藤温瞳講師)
29日 忘年会

Gエイム日誌

令和7年12月

- 4日 餅つき
5日 イベントランチ
15日 ドライブ(19日)
20日 誕生会
25日 クリスマス会・忘年会



奇楽荘日誌

令和7年12月

- 6日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
11日 忘年会
21日 誕生会
23日 クリスマス会

GHきらら日誌

令和7年12月

- 2日 訪問診療(宇利)
4日 訪問診療(吉祥)
散髪(宇利)
6日 ドライブ(於三河一宮・大和の大イチョウ)
7日 海と山の交流コンサート(於 新城文化会館)
10日 第3回愛知県認知症グループホーム連絡協議会・東三河ブロック会議(カリオンビル)
16日 散髪(吉祥)
23日 ユニット会議(宇利)
25日 忘年会・クリスマス会
27日 ユニット会議(吉祥)
30日 もちつき

UD
FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



環境にやさしい
植物油インキを
使用しています。

作業連絡グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ・



作業連絡グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ・

施設概要・ブログ等を公開

編集後記

2008年をピークに日本の人口は減少しており、当然労働者人口も減少、人手不足に拍車を掛けています。それ故職員が働きやすいよう職場環境の改善が求められ、その一つとしてワークバランスの推進、つまり仕事と生活の調和を実現することが大切です。

「ここで「仕事」と「働く」という意味を整理すると、前者は外側から合わせる、後者は内側から始める、と解することが出来、「働く」は自分の意志で選んだ営みであり、誰かのために動く、自分の流行語大賞に選ばれた高市総理も日本のため、国民のために「働く」覚悟をされたと理解できます。

誰のため、そして自分らしくを問うていくことが「働く」ことの原動力に繋がるのではないだろうか。本年も「馬」力をもって邁進して行きましょう。(T・A)